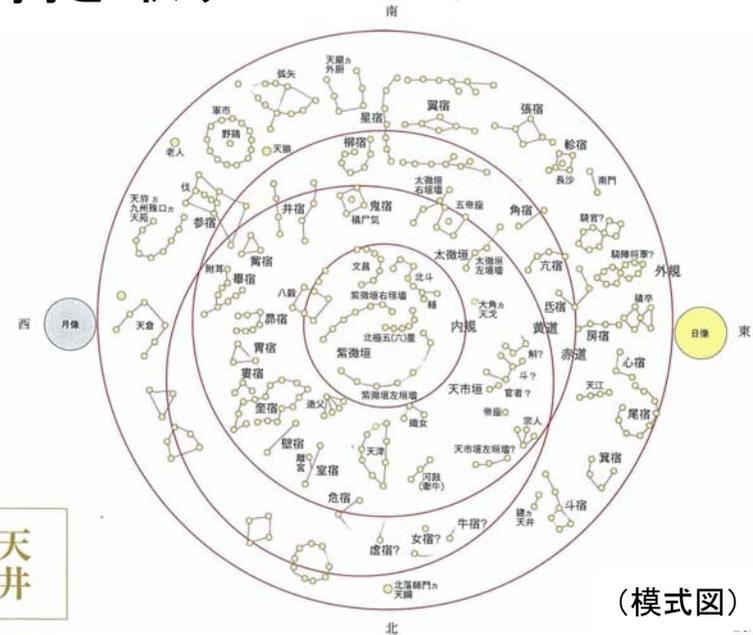


キトラ古墳壁画天文図の剥ぎ取りについて

(構成)

- ・内規(北天で常に水平上にある範囲)
直径約168mm
- ・外規(天空で見える範囲)
直径約606mm
- ・赤道(天の赤道)
直径約403mm
- ・黄道(太陽の通り道)
直径約405mm
- ・日像・月像
直径約53mm

※ サイズはフォトマップから推算したもので、「文化庁、奈文研、榎考研、明日香村教委『特別史跡キトラ古墳発掘調査報告』H20.3.21」で報告されている。

**(剥ぎ取り作業の期間と回数)**

- ・剥ぎ取り期間: 平成19年7月5日～平成20年11月27日
- ・剥ぎ取り回数: 22回(1回あたり2～3日の日程)

(剥ぎ取った漆喰片の数)

- ・113片(日像・月像を含む。)

(星・星座の数)

保存措置作業の過程で撮影した写真で確認できた星の数

- ・金箔が一部でも残っているもの 179個
- ・痕跡(刻線や朱線による下書き)だけのもの 98個
- ・合計 277個

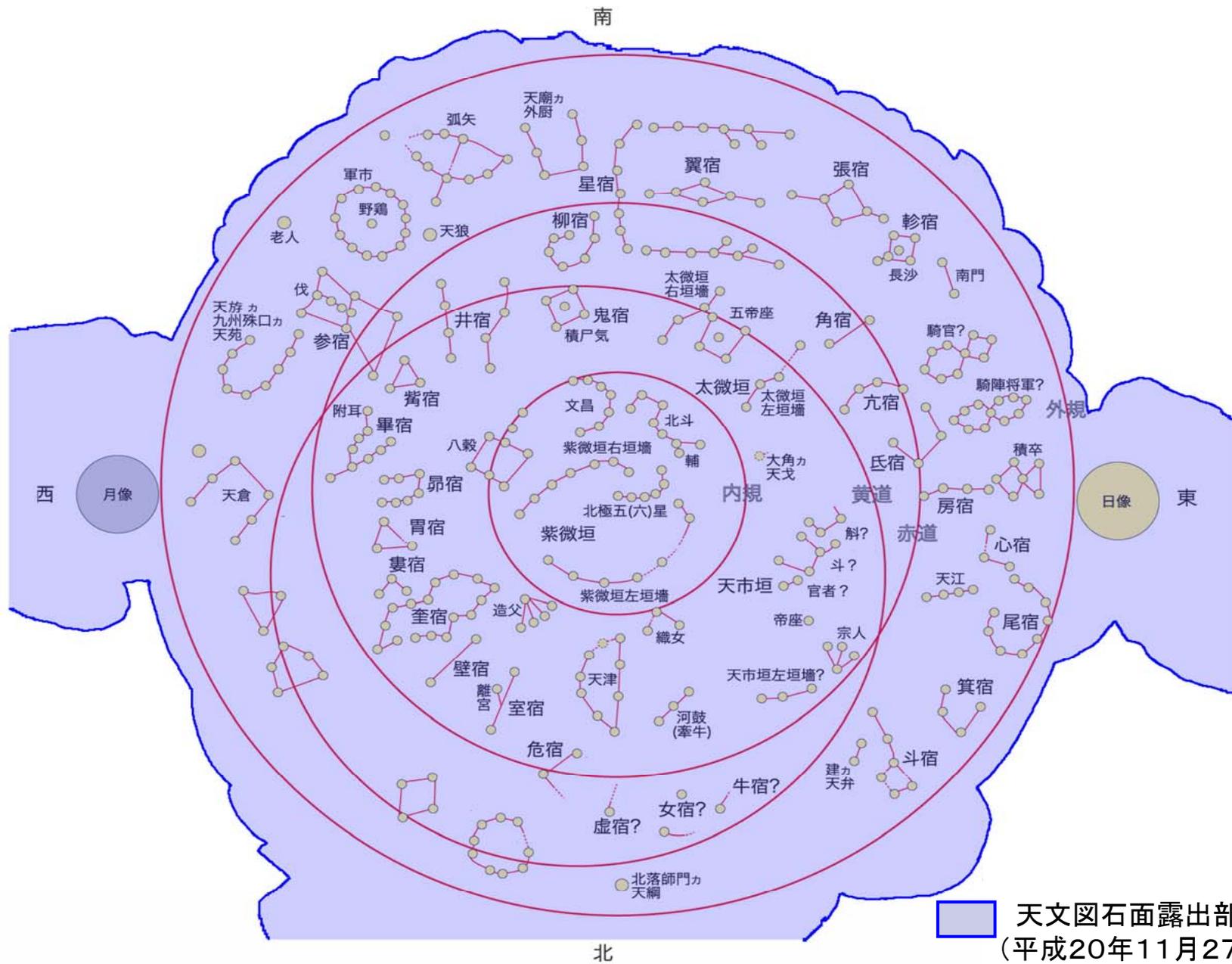
※ 模式図上の星の数は約350個、星座の数は68個(専門家の知見を踏まえ、推定される星の数や位置も含まれている。)

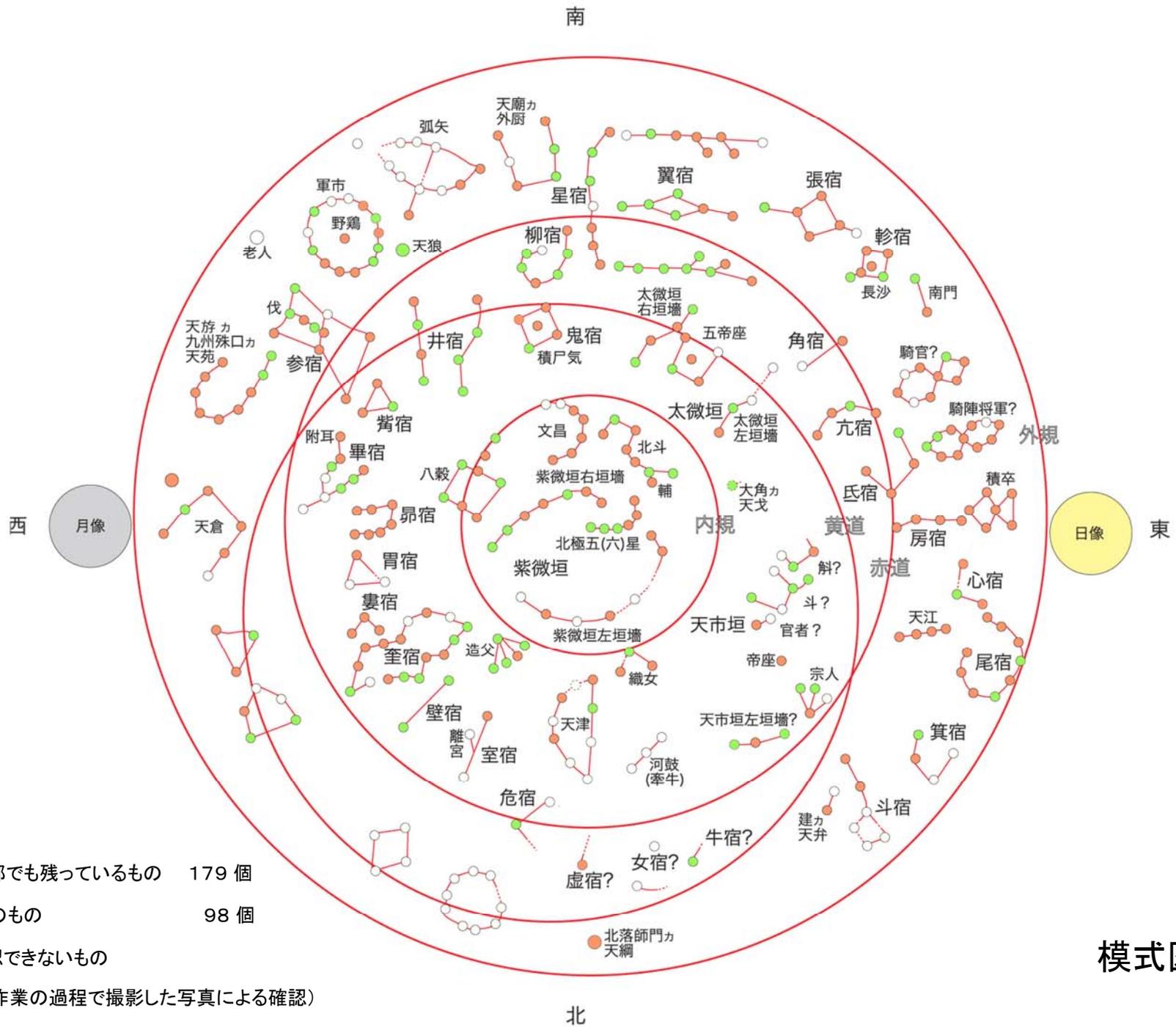


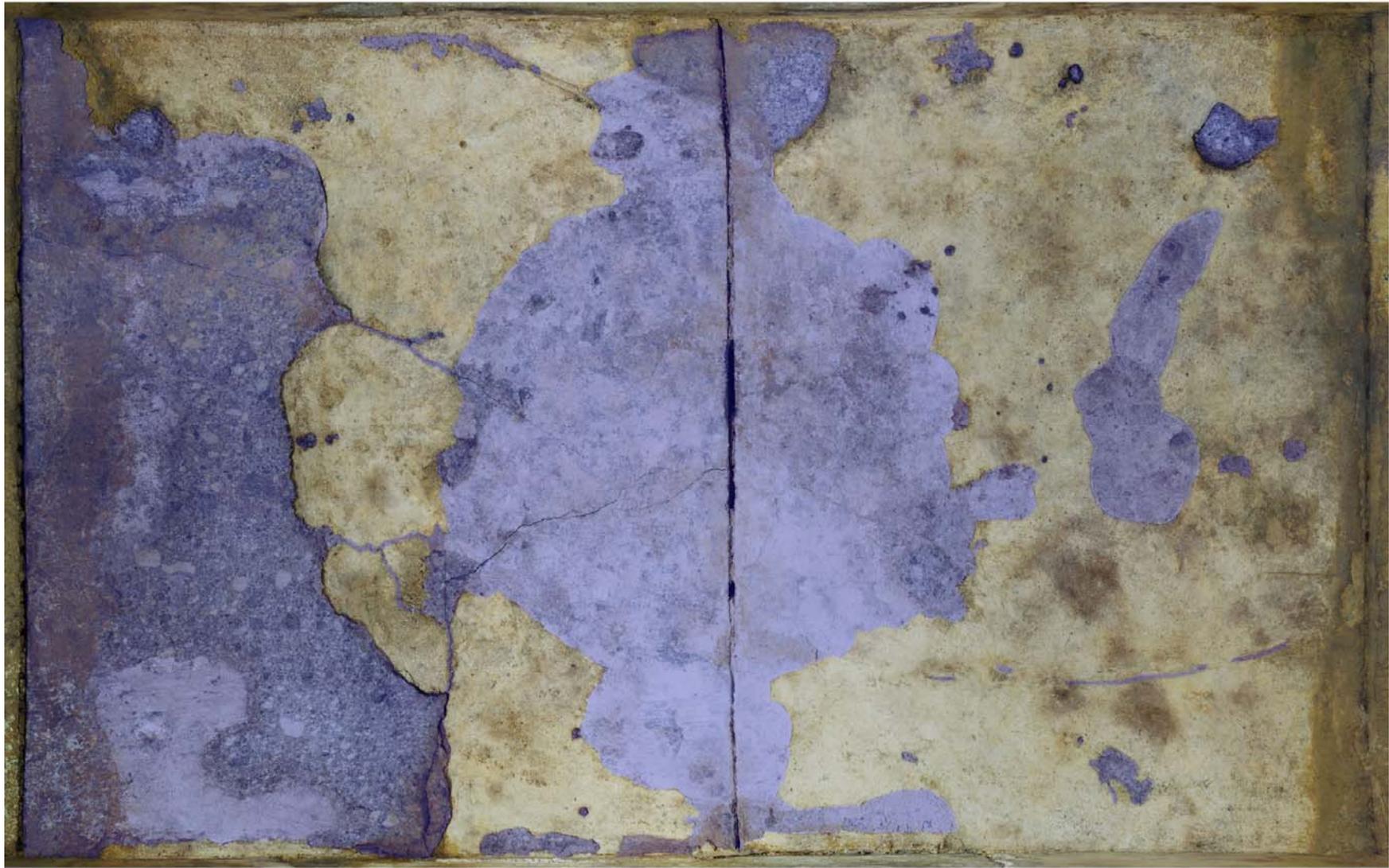
天文図剥ぎ取り前
(平成19年4月2日現在)



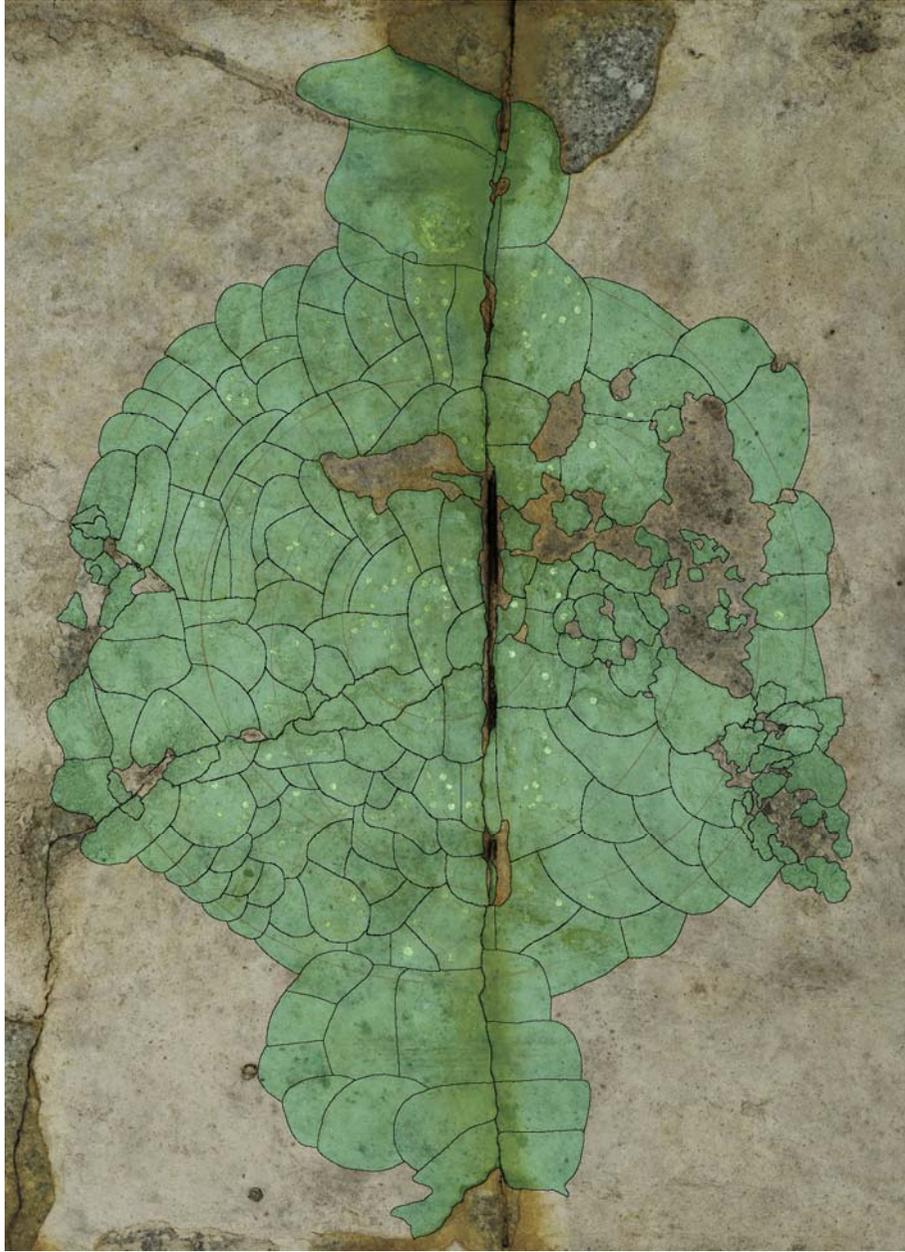
天文図剥ぎ取り後
(平成20年11月27日現在)







網掛けは天文図石面露出部分 (右が北、上が東)
(平成20年11月27日)



天文図漆喰取り外し図
(右が北、上が東)